

令和6年度第1回長門市公共交通協議会 議事録要旨

■日時：令和6年6月28日(金)10:00～11:10

■場所：長門市役所本庁 4階「会議室1・2」、Web

■出席者：23名（欠席4名）別紙のとおり

■次第：1 開会

2 委員紹介

3 議事

(1) 長門市公共交通協議会規約の制定について

(2) 役員の選出について

(3) 令和6年度長門市公共交通協議会事業計画・予算（案）について

(4) 令和7年度地域公共交通確保維持事業（案）について

1.地域内フィードシステム確保維持事業に係る計画（案）

2.地域間幹線システム確保維持事業に係る計画（案）

(5) 山口宇部空港直行使事業計画（案）について

(6) その他

議事

(1) 長門市公共交通協議会規約の制定について 《承認》

事務局から、資料2-1、2-2について説明を行った。※質疑なし

(2) 役員の選出について 《承認》

事務局より説明。※意見なし

【会長】長門市副市長 大谷 恒雄 委員

【副会長】油谷地区自治会連絡協議会会長 河野 広行 委員

【監事】長門地区自治会連合会副会長 河野 歳明 委員

長門市老人クラブ連合会事務局長 神谷 信好 委員

【アドバイザー】山口大学大学院創生科学研究科 榊原 弘之 委員

(3) 令和6年度長門市公共交通協議会事業計画・予算（案）について 《承認》

事務局から、資料3-1～3-3について説明を行った。意見等については以下のとおり。

【委員】共創事業に関するAI オンデマンド導入補助金は、協議会の予算に計上されていないが、別予算で実施するのか。

【事務局】市の予算で実施する予定。

【委員】AI オンデマンドについて、市街地区は比較的範囲は広く、既存の公共交通ではカバーしきれないという状況下でAI オンデマンドを導入するのは非常に有効な

試みであると感じる。しかしながら、既存のバスやタクシーへの影響について考慮しながら実証をしていく必要がある。

【会長】

市街地区での導入は、バスやタクシー等複数の事業者への影響が出る可能性があるため、しっかり調整を図ったうえで慎重に進めていきたい。

(4) 令和7年度地域公共交通確保維持事業(案)について 《承認》

1.地域内フィードシステム確保維持事業に係る計画(案)

2.地域間幹線システム確保維持事業に係る計画(案)

事務局から、資料4-1、4-2について説明を行った。※質疑なし

(5) 山口宇部空港直行便事業計画(案)について 《承認》

事務局から、資料5について説明を行った。意見等については以下のとおり。

【委員】過去の利用実績について、観光客と地元の方の利用の割合が分かれば教えてほしい。

【富士第一交通 城戸崎委員】地元の方が3割程度、観光客の方が7割程度。行き便と帰り便の利用者数はほぼ同じである。朝、夕の利用は少ない。

(6) その他

事務局から、参考資料2について説明を行った。※質疑なし

JR 西日本中国統括本部長門市管理駅駅長岡本委員から、参考資料3について説明を行った。

【山口大学榊原アドバイザー】山陰線について、この度復旧の見通しが立ったということは大変喜ばしい。美祢線に関しては、以前災害が起きた際に復旧したが、昨年度再び災害が起きたことでなかなか議論が進まない状況にある。山陰線については、復旧工事が行われるが、輸送密度としては年々減少しており厳しい状況下にある。こうした利用状況の中で関係沿線市と一緒に利用促進に取り組み、山陰線を残すためになにが必要か、また地域全体の活性化も含めて議論していけたらと思う。みどりの券売機について、定期はWEBで申し込みができると思うので、高校生等にもっと周知していくと良いのでは。

【会長】山陰線については、山陰線利用促進協議会の事務局を長門市が担っており、復旧後は利用者数が伸びるよう沿線市町と一緒に利用促進に努めていきたい。

【事務局】資料が膨大にわたっており、説明についても割愛させていただいた部

分が多くあるため、お配りしているご意見質問票にて事務局までご連絡いただけたらと思う。また、新たに委員になられた方については協議会についてご不明な点が多くあると思うので、個別に説明等が必要な場合はお申し出いただきたい。

【会長】本日承認いただいた「令和7年度地域公共交通確保維持事業計画」、「山口宇部空港直行便運行計画」は早速、国土交通省に提出したい。国における決定に際し、軽微な修正事項等が発生した場合は、会長及び事務局に一任いただきたい。

以上で本日の議題はすべて終了する。